

2010年 (平成22年) 8月11日 (水曜日)

藤岡北中が連覇

地域の名産品で工夫

中学生弁当コンクール県大会

第11回全国中学生創造ものづくり教育フェスティバルとうコンクール



県大会(県中学校技術・家庭科部会主催)が10日、前橋市小屋原町の群馬調理師専門学校で開かれ、最優秀賞には

アイデアいっぱいの弁当作りに取り組む生徒たち

2年連続で藤岡北中

(竹内真奈美さん、新井榛名さん、久保英華さん)が選ばれた。来年1月に都内で開かれる全国大会に推薦される。

コンクールは家庭科で学んだことを生かし、食べてもらう人を作ることで、身近な人とのかわりの大切さ、食の重要性を感じてもらったことが目的。

今回は13チームが参加、3人1チームを基本に4人分の弁当を作った。予算は1人80

0円以内で、誰のためを作るのが重要なポイント。ほかに栄養バランス、盛り付け、味が審査された。

生徒たちは、90分の制限時間内に役割分担をしながら、食材の下準備から後片付けまでを行った。トマトやニ

ジマス、雑穀米といった各地域の名産品を持ち寄り、食材の味を生かしながらアイデアあふれる弁当作りに取り組む姿が目立った。

藤岡北中の3人は、ともに3年生で昨年に続く最優秀賞。「Healthy cooking We love shona Hea

ithy弁当をテーマに、同校で英語を指導する教諭に向けた弁当を作った。カジキマグロを素材にした和風ヘルシーフィッシュバーガーがメインで、揚げずに焼いて健康面に配慮した。

3人は昨年の全国大会で思うような成績が挙げられなかったことから、今年こそという気持ちで臨んだと言い、代表の竹内さんは「練習時間が短くて大変だった。1回1回の練習を大切にし、3人で頑張ってきたのがあったと喜んでいて